

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成28年度取組実績」

15 東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

行動計画(チャンス&サポートプラン2012)記載の内容	28年度取組実績
1. あらゆる分野への参画の促進	
(2)社会・地域活動への参画促進	
<p>父親のPTA参加の促進 保護者(PTA)として、母親・父親の枠を取り払います。 (1)父親にも気軽に参加できる幼稚園PTAの行事を考えます。 (2)父親対象の子育て講座等を通し、子育ては母親だけがするものではないことを意識し、理解できる機会をつくります。 (3)父親の苦勞、母親の苦勞を分かち合える対話の場を設けます。</p>	<p>(1)10月30日に「子育て研修会」を開催し、各家庭での子育てを見つめ直す機会とする。また、父親と遊ぶ楽しさが体感できる場を設けました。  (2)1月27日に「東京都幼稚園・こども園PTAリーダー研修会」を開催し、子育てにおける父母の役割について考える機会を作りました。</p>
2. 仕事と家庭・地域生活の調和がとれた生活の実現	
(2)子育てに対する支援	
<p>子育て支援事業と健全な子供の育成との関連を調べます。  ・公立幼稚園の預かり延長保育や、行政が進めている幼保一元化等の子育て支援と適正配置が、保護者の男女平等参画にどのような影響を与えるのか検討していきます。</p>	<p>年5回開催予定の東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会理事会において、認定こども園制度および預かり保育や幼保一元化等の子育て支援に関して情報を共有し、意見を交換しました。  必要に応じて東京都国公立幼稚園長会等に対して各区の預かり保育の実態に関する情報の提供を求めたり、PTAから行政等への要望などについて情報交換したりしました。</p>
5. 男女平等参画を推進する社会づくり	
(1)教育・学習の充実	
<p>幼児期に男女平等の意識の芽生えを培うため家庭環境の工夫を図ります。 (1)大人が無意識に使う「男の子(あるいは女の子)のくせに」、「男の子(あるいは女の子)なんだから」といった言動や思い込みを見直します。 (2)遊びや遊具、友達関係に対して、性別による枠や価値観を押し付けないようにします。</p>	<p>各幼稚園において、保護者が親として、大人としてどのように子どもに接するべきか、また両親の役割はどのように考えるべきかなどについて話し合う機会を設けるよう、広く呼びかけています。</p>